

## パンダ橋における取組状況について

### 1 背景・目的

区では、上野地区まちづくりビジョンに掲げる「杜とまちを自由に行き交うことができるひと中心の空間活用」の視点を踏まえ、杜と駅とまちを繋ぐパンダ橋を、ウォークアブルな空間に転換していくことを目指している。

杜・まち・駅に直結する立地特性を活かし、ＪＲ等と連携し取組を進めていくことにより、パンダ橋における地域の魅力発信等に資する活用や滞在快適性の向上につなげていく。

### 2 取組状況

多様な主体による地域の魅力発信等に資する活用を目指し、パンダ橋の活用方針や第三者への貸出ルールを作成を目的に、ＪＲ等と連携し賑わい・交流の場や居心地の良い空間の創出に取り組んだ。

#### (1)実施概要

○日時 令和 8 年 5 月 1 6 日（土）1 1 時～1 8 時、1 7 日（日）1 1 時～1 7 時

○天候 全日：晴れ ※最高気温 5/16：約28℃、5/17：約30℃

○体制 主催：上野中央通り商店会 後援：東日本旅客鉄道株式会社、区

#### (2)当日の様子



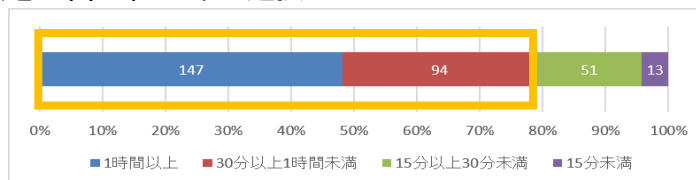
### (3) アンケート結果 ※LoGo フォームによる回答 N=305

#### ①来場者の居住地とパンダ橋を訪れる頻度

- ・来場者の居住地は区内が約2割、区外が約8割
- ・来場者の訪問頻度は、週1回～毎日が約2割、初めて～数回程度が約4割

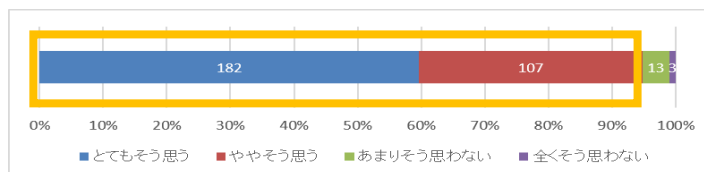
#### ②来場者のパンダ橋の滞在時間（予定を含む）※単一選択

- ・30分以上滞在された方は約8割、1時間以上滞在された方は約5割



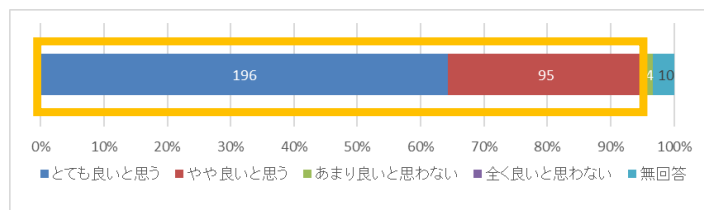
#### ③本取組による上野地区の回遊性向上 ※単一選択

- ・本取組が回遊性向上に寄与していると思った方は9割以上



#### ④本取組の印象 ※単一選択

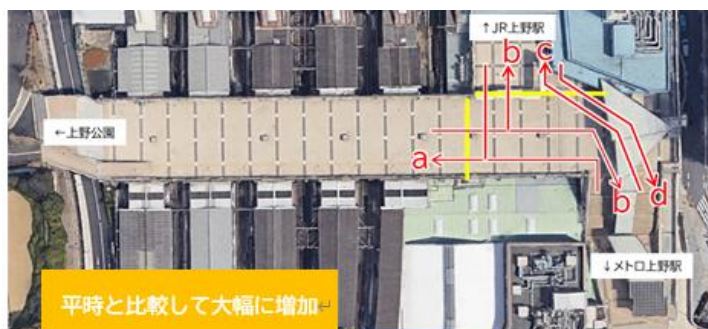
- ・本取組に肯定的な意見の方は9割以上



#### ⑤主な意見

- ・駅前で交通アクセスが良いので、定期開催を希望します。
- ・日影・日除けがあると良い。
- ・休憩スペースを増やしてほしい。
- ・会場でもらった「ペット同伴可能な飲食店マップ」をきっかけに、区内の掲載店を利用することができた。

### (4) 歩行者交通量



| 5/16(土)              |       | a      | b       | c       | d        |
|----------------------|-------|--------|---------|---------|----------|
|                      |       | 至 上野公園 | 至 JR上野駅 | 至 JR上野駅 | 至 メトロ上野駅 |
| 14:00                | 15:00 | 988    | 919     | 427     | 853      |
| 合計                   |       | 1907   |         | 1280    |          |
| 5/17(日)              |       | a      | b       | c       | d        |
|                      |       | 至 上野公園 | 至 JR上野駅 | 至 JR上野駅 | 至 メトロ上野駅 |
| 14:00                | 15:00 | 514    | 746     | 497     | 785      |
| 合計                   |       | 1260   |         | 1282    |          |
| 【参考:平時】<br>令和6年10月休日 |       | a      | b       | c       | d        |
|                      |       | 至 上野公園 | 至 JR上野駅 | 至 JR上野駅 | 至 メトロ上野駅 |
| 14:00                | 15:00 | 357    | 482     | 325     | 570      |
| 合計                   |       | 839    |         | 895     |          |

### 3 検討状況

○これまでの取組を通じ、パンダ橋のポテンシャルや利活用に対する認知度が向上し、パンダ橋で地域の魅力発信等に資する活動を行いたいとの声が寄せられるようになっている。

○また、区では、J Rと連携し、地域の魅力発信等に資する文化創造 HUB※としてのパンダ橋の活用イメージ例（図版1）を作成した。

○今後は、日常的に文化を通じた交流・創造が生まれるよう、引き続きJ Rと連携し、少人数でも利活用できる仕組み・方策の検討を行うとともに、貸出ルールを作成したうえで、適切な活用に取り組んでいく。

○これらの取組により、パンダ橋を立ち寄りたくなる・活用したくなる拠点に再編し、杜とまちの回遊性の向上に繋げていく。（図版2）

※J Rが掲げる上野駅における「文化体験の創造・魅力発信」と「まち・地域の回遊」の循環を通じて、まち・地域とともに駅を起点とした共創型まちづくりを推進する取組。



図版1：活用イメージ例



図版2：上野駅周辺の歩行者ネットワークのイメージ例  
（令和7年度上野地区まちづくりビジョン推進会議資料抜粋）

### 4 今後の取組

地域の魅力発信等に資する文化創造 HUB としてのパンダ橋の活用イメージ例の検証や条件整理・仕組みづくりの深度化を図っていくため、今後、区民等への利活用に係るアンケート調査を実施するとともに、引き続き、関係者との連携のもと、文化創造 HUB としての取組を順次実施していく。

### 5 今後の予定

|      |      |                      |
|------|------|----------------------|
| 令和8年 | 8月以降 | 区民等へのアンケート調査         |
|      |      | 文化創造 HUB としての取組を順次実施 |